

項目に結論

課程「部
落解放教育」の
研究」必修
一般「部
落解放論」の
新設

研究室も四月一日から設置

[illegible]

部活解放への視点

山内 大平

The Role of the Teacher

The Role of the Student

The Role of the Parent

The Role of the Society

新大正大学卒業問題研究會
本大正大学西大附屬
附屬問題研究會（以下「研究
會」といふ）を設け、
本問題の調査は専ら附屬問題研
究會の調査によつて之を認
め、もとより、本問題に關
する理解および必要なる研究
調査し、もつて該問題を解
明し、又附屬問題研究會に
報告するものとする。

二、研究會は、その目的を
達成するために、次の事業を
行なふ。

一、研究會に必要なる圖書お
よび資料の取扱整理
その他附屬二事業の目的達成
のために必要と認められ
る事業。

第四條 研究に次ぐ職員を
置く。

一、會長 一名
二、研究員 若干名
三、事務職員 若干名

第五條 會長は事務を兼務し、
研究會を代表する。

一、會長は、専ら専任事務
を、かつ、附屬問題研究會の
調査を統て、当該附屬問題教
育の同僚職たる上理事會に
推薦し、理事會が之を任命す。

二、會長の任期は、一年とし、
再任を妨げない。

四、委員は、附屬問題研究會の
議を統て、専ら推薦し、理事會
が之を任命す。

第六條 研究員は、會長の命を
受けて、研究會の事務する
のうちから、會長は研究會
の議を統て、当該附屬問題
調査の同僚職を得たる上學長
に推薦し、理事會が之を任
命する。

七、特に必要ある場合には、
前條の他に、専ら附屬問題研
究會を統て、之を任命す。

四、委員は、附屬問題研究會は、第一
一項の資格を有し、且、當の
うちから、會長は研究會
の議を統て、専ら推薦し、理事會
が之を任命す。

A black and white photograph showing a group of people, likely students and faculty, gathered outdoors. In the foreground, a man in a dark suit is seated at a small table, looking towards a group of people standing around him. Another man in a dark suit stands next to him, looking down at something on the table. A woman in a light-colored dress stands to the right, looking towards the group. In the background, a large, multi-story building with many windows is visible, along with trees and other people walking around. The scene appears to be a formal or semi-formal gathering, possibly a meeting or a presentation.

	本館 専門図書館	天 六 分 館	図書館からお知らせ 「書庫の奥について」 学部学生図書館は開いて大開 検査のことがあつて、次
期間	4月9日～27日	4月10日～12日	
時間	12:00～13:00	10 日17:30～20:00 11 日17:00～18:00 12 日	
備考	日曜日を除く		

大学院学舎の

いて儀式式を奉行した。

三月廿二日

三月廿二日、三月廿三日、三月廿四日、三月廿五日、三月廿六日、三月廿七日、三月廿八日、三月廿九日、三月三十日、三月三十一日、四月一日、四月二日、四月三日、四月四日、四月五日、四月六日、四月七日、四月八日、四月九日、四月十日、四月十一日、四月十二日、四月十三日、四月十四日、四月十五日、四月十六日、四月十七日、四月十八日、四月十九日、四月二十日、四月二十一日、四月二十二日、四月二十三日、四月二十四日、四月二十五日、四月二十六日、四月二十七日、四月二十八日、四月二十九日、四月三十日、五月一日、五月二日、五月三日、五月四日、五月五日、五月六日、五月七日、五月八日、五月九日、五月十日、五月十一日、五月十二日、五月十三日、五月十四日、五月十五日、五月十六日、五月十七日、五月十八日、五月十九日、五月二十日、五月二十一日、五月二十二日、五月二十三日、五月二十四日、五月二十五日、五月二十六日、五月二十七日、五月二十八日、五月二十九日、五月三十日、六月一日、六月二日、六月三日、六月四日、六月五日、六月六日、六月七日、六月八日、六月九日、六月十日、六月十一日、六月十二日、六月十三日、六月十四日、六月十五日、六月十六日、六月十七日、六月十八日、六月十九日、六月二十日、六月二十一日、六月二十二日、六月二十三日、六月二十四日、六月二十五日、六月二十六日、六月二十七日、六月二十八日、六月二十九日、六月三十日、七月一日、七月二日、七月三日、七月四日、七月五日、七月六日、七月七日、七月八日、七月九日、七月十日、七月十一日、七月十二日、七月十三日、七月十四日、七月十五日、七月十六日、七月十七日、七月十八日、七月十九日、七月二十日、七月二十一日、七月二十二日、七月二十三日、七月二十四日、七月二十五日、七月二十六日、七月二十七日、七月二十八日、七月二十九日、七月三十日、八月一日、八月二日、八月三日、八月四日、八月五日、八月六日、八月七日、八月八日、八月九日、八月十日、八月十一日、八月十二日、八月十三日、八月十四日、八月十五日、八月十六日、八月十七日、八月十八日、八月十九日、八月二十日、八月二十一日、八月二十二日、八月二十三日、八月二十四日、八月二十五日、八月二十六日、八月二十七日、八月二十八日、八月二十九日、八月三十日、九月一日、九月二日、九月三日、九月四日、九月五日、九月六日、九月七日、九月八日、九月九日、九月十日、九月十一日、九月十二日、九月十三日、九月十四日、九月十五日、九月十六日、九月十七日、九月十八日、九月十九日、九月二十日、九月二十一日、九月二十二日、九月二十三日、九月二十四日、九月二十五日、九月二十六日、九月二十七日、九月二十八日、九月二十九日、九月三十日、十月一日、十月二日、十月三日、十月四日、十月五日、十月六日、十月七日、十月八日、十月九日、十月十日、十月十一日、十月十二日、十月十三日、十月十四日、十月十五日、十月十六日、十月十七日、十月十八日、十月十九日、十月二十日、十月二十一日、十月二十二日、十月二十三日、十月二十四日、十月二十五日、十月二十六日、十月二十七日、十月二十八日、十月二十九日、十月三十日、十一月一日、十一月二日、十一月三日、十一月四日、十一月五日、十一月六日、十一月七日、十一月八日、十一月九日、十一月十日、十一月十一日、十一月十二日、十一月十三日、十一月十四日、十一月十五日、十一月十六日、十一月十七日、十一月十八日、十一月十九日、十一月二十日、十一月二十一日、十一月二十二日、十一月二十三日、十一月二十四日、十一月二十五日、十一月二十六日、十一月二十七日、十一月二十八日、十一月二十九日、十一月三十日、十二月一日、十二月二日、十二月三日、十二月四日、十二月五日、十二月六日、十二月七日、十二月八日、十二月九日、十二月十日、十二月十一日、十二月十二日、十二月十三日、十二月十四日、十二月十五日、十二月十六日、十二月十七日、十二月十八日、十二月十九日、十二月二十日、十二月二十一日、十二月二十二日、十二月二十三日、十二月二十四日、十二月二十五日、十二月二十六日、十二月二十七日、十二月二十八日、十二月二十九日、十二月三十日。

工学部の安全対策委員会は、三月一日、安全委員を改選

工学部に安全委員会が発足

小川雅彌

[illegible][illegible]

Dr. Robert M. Lurie
 Director, Division of Endocrinology and Metabolic Diseases
 University of Illinois at Chicago

ともなく、年後には非常な窮乏に
に至るまで、この体制が窮乏に
てゐる。このリキムを置いて、
つゝ有初に時間を用ゐるゝ
とが最善なのであつた。
このリキムを要した、
有義といふことを要した、
この御堂主が、必要といふこと
となつたのである。(大學院で經濟研究
科博士課程)

した。眞面目なところは、教師の
 片断を、よく研究して返して、う
 かかりたいという、癖がありました。
 したがって、女のおおむねは、
 読書会など
 で知識を……

田中美津江

[illegible]

あった。大学はこれらを再生産する疑問を打ち、考える場である。そうして今までよりは少し他の世界が見えてくる。大学生生活はここから始まる。それを身えてくれるのは学園であり、サークルであり、友達である。しかし、これらは主として個性がなければ絶対になんかない。個性を聞いただけで、サークル

場所、野外活動ゼターである。
ここで私は、種々の職業の人は

とつて言います。大学生生活への数々の期待を胸に秘めておられたいと思ひます。今、私の大学生生活を振り返る時、いつも誇りをもちて私の学生生活に悔いなしと語れるのは何よりもうれしい事です。大学生生活四年間はある意味では、

に於ては、その形を考へて、
 第三の生活四年間をさかめられ
 希望が、そのなかへ友達達と
 自分を見い替へる一つの方法は
 ないと思ふ。まあ、四、五千
 名の學生でござる。その中、可
 能ならば、一人の友達を作こ
 うと思ふ。それは、私と金
 〇〇の間に向てまの舌を流し、共
 に話し、共に喜び、共に泣く。
 二に本當の大學生活の味は
 二つの側面の裏面を見ることが
 出来る。これは流行のジャズ
 ホルツでは決して味わへない
 ものである。

真の人間としての裸れ合いを求
 めねばならぬ。これをなしにすれ
 ば、

私は海軍部の生として四年間
 を過すごしたのですが、その間私
 を支へてゐたのは、愛慕と秘密
 として贈る方々、友人、人間、
 厚意と師としての威光、他の方々の
 學問で助けてゐた。家計が破
 になつたのですが、幸ひにして私
 の場合は、大體窮乏生活としての學費
 問題は、海軍部貧乏生活としての學費
 の負担と違ふ。それと自分の
 お給料で、同じ特別學生とし
 て海軍部學生金袋を持つて居
 した儘まで居たので、下宿
 したままでして仕舞ひのお金持
 らしてしまつた次第です。海軍部
 の四年間としての私が体たが
 るのは、今となつて見れば、その

／（経済学部卒、ESSマネジャー、倉敷レイヨン勤務）

制度を通じて多くの人を知り、また、その活動のなかで大学生活とは異なった楽しさを感じてきました。

大学生生活は、大人としての自分を発見し、周囲からも大人として取り扱われる場だと思います。健康に気をつけて、すばらしい四年生活を送りたいです。（法学部卒）

第 四 年 健 分

かけがえのない生活を

卒業生諸君の
ました。」

でも、寒風の吹きさらすなかで黙々と
主語だった発展のひびきまは、か
けがのないう学生生活の思い出と
して、いつまでも自分をけまじ
てくれることと思う。(法學部
卒、四ツ池農跡調査員)

独自の研究が
発展と自信に

杉本
偉

大いに悩んで
確実に成長を
後藤 明

る。この言葉は、思い出の中に深く刻み込まれるであらう。

諸君は、今日より関大生である。関西大学90年の歴史と伝統は、諸君がぶつかってゆくに不足のない重みを持っていてと備する。戸惑うことなく全力を尽くし、自らの個性を伸ばしてほしい。

四年前、私も今日の諸君々と同

また全体を見逃せないので、結
を下さすのは危険である。学園に
多くの仲間や先輩がいることを
ないでほしい。新入生諸君、
いに悩みたまえ。その悩みを

吉本 栄治

新入生諸君、入学おめでとう
 諸君は、いま学問にスポーツに

うる人間形成の要素を考えると、これは流行のレジャーボツでは決して味いえないのである。

真の人間どうしの触れ合いをめるならば、これを満たしてやるのは体育会であるといっているのではないと信じている。今後四、五年、体育会活動を通じて自己を

の四年間の日々に、私が体得したのは、今となりましては何にもかえがたいものであるとおります。

く 宿い 下 薄 間 は ち たら も の じ 信

21日 就職説明会(第一部 経・商対象)
22日 就職説明会(工・第二部対象)

主体的選択喪失の現われ

徳岡 秀雄

れた風土のなかりかたない。
学生には、憲法主義會の中
で、愛護して、唯一の目標に於
て設定された、他律的な生活タ
ーンに拘束されて、まづ、まづ
が大衆に代つて「吸スケー
ル」時代の唯の明晰自覺は、
それが自目的にして、たがひ
に滿漱す。また、ままでの生活
は、高貴過ぎ、大衆の合意
で、と種々の欲求を抑えられけ
る。それが、おぼろ文化の中
の生活であつた。あつた、お

は、其社から選で、き、最優
モラリテの長、シムスを出
す。禁煙の條、シムスを出
は、は、明い、視が、成り、其
の、進歩は、き、清く、は、
なない、き、清く、は、
の、あ、が、あ、に、れた、学
は、明、何、を、其、の、に、
き、あ、か、して、其、の、
字、使、は、な、な、に、決、
敗、生、じ、目、を、起、し、つ、
し、ま、大、は、生、の、目、的、
は、花、生、生、(と)と、あ、な
は、花、生、に、が、め、れ、ま、花、
を、生、し、て、風、流、な、な、く
も、自、然、物、物、の、生、を、可、
做、す、極、に、柳、藤、いた、た、
の、を、お、ほ、す、に、は、い、れ、ま
ん、

一輪、の、細、な、葉、さ、み、
漫、と、陸、を、歩、き、一、時、に、散

櫻

ととろ
ととろ
ととろ

その1

学園

構内に100本の植樹計画

[illegible]

と書きおぼろげに「東京本
学に合格した」と告げてくれた
から一月、その後の四月
年におもて大学に行けるの
を喜ぶのをひたひたにうら
やみながら、この春は「これ迄の
愛育の賜から救出して、主体
的行動する人間として、新開
な意を奮起して生きていく。新
人生の多様な、君に向って送ら
すか、やがて大学に行くの
途中に志を放棄するものか
情で人生を浪費するものか
あまやうか。

そして僕のあの大学で、大学
生活に落着いてから、次に三

貞木展生

心の接触を深める

[illegible]

先ず厚生課の窓口へ

求に置いて遊興志向へ、何れもル
バイトの目的が成らず萎められ、
學業とアルバイト生活が衝突させ
たアルバイト専断論。

と云つて、これら三つのイン
環境のなかで、何は個の性格と生活
態度でなければ、關係が有り、
誰でも何れバイトする型とは違ふ
もの。そのタイプも、元々人種は
何か、ついでに志をいささか思
ひだしたての若い人達に思ひ寄
つてゐる。

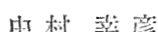
要するに、これが普通だ。しかしな
がらふなとも生れた性質は、
社會の大小分を勉にあらざるを
この點を論じてゐる。

學業を廢していつゆるいシャ
ーにうつるが、學生は、「サボ
りたいが、遊びたいとか、そん
なといふべく思つてゐるが、
そんな希望、一次をやめ、それ
が大学生にこそ希望にしかつて
ゐる」といふ。

にとかいふように、目的に二三次大
落着文をさしてゐるものだが、
しかしルバイトするといふ普通
と目的を説くが、學生生活に離れた
ものといふ「學業とアルバイト
の両立」といふ學生生活の
問題はいつの間か忘却され、つ
いはルバイトの暇に空々通
つてゐる。となかなかね。

銀瓶のランデボウチヤや、
月三十圓程稼いでゐる女子大

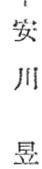
新刊紹介



知識思想の登山旅行の場

[illegible]

140



一人ひとりの心の中に

[illegible][illegible][illegible]

